

長野圏域のことばの教室等

※ 山王小学校は難聴学校が併設、西部中学校は難聴学級が設置、長野ろう学校は難聴通級指導教室が設置されている。

令和7年
現在

※ 長野県言語聴覚士会HP掲載資料より抽出。

学校名	TEL	FAX	教室受信電話	〒	所在地
須坂小学校	026-245-0071	026-248-8840		382-0013	須坂市大字須坂780
三水小学校	026-253-2004	026-253-8691		389-1206	上水内郡飯綱町大字普光寺179
三輪小学校	026-234-1251	026-234-1252		380-0803	長野市三輪8-3-2
山王小学校	026-226-4405	026-226-4558		380-0936	長野市中御所30-1
川中島小学校	026-284-4102	026-284-4146	026-284-5631	381-2233	長野市川中島町上水鉤172
通明小学校	026-292-0100	026-292-1923	026-292-0100	388-8006	長野市篠ノ井御幣川270
長野ろう学校	026-241-5320	026-244-9217		380-0803	長野市三輪1-4-9
屋代小学校	026-272-0037	026-272-1273	026-274-1948	387-0007	千曲市大字屋代2111
坂城小学校	0268-82-3161	0268-82-3162		389-0601	埴科坂城町大字坂城6227

長野市の
発達障害
通級指導
教室

通級指導教室の種類	学校名	所在地・連絡先
学習障害、ADHD、自閉症等の発達障害がある場合	さわやか教室 (サテライト校)	川中島小学校 (共和小学校) 長野市川中島町上水鉤172 Tel: 284-5631 (通級指導教室直通)
	まなびの教室	鍋屋田小学校 長野市大字鍋賀上千歳町1365-2 Tel: 234-2305 (まなびの教室直通)
	まなびの教室 (サテライト校)	緑ヶ丘小学校 (朝陽小学校) 長野市大字高田2281 Tel: 221-7600 (まなびの教室直通)
	まなびの教室	広徳中学校 長野市稻里町田牧1355-1 Tel: 283-3855
	まなびの教室 (サテライト校) (サテライト校)	櫻ヶ岡中学校 (東部中学校) (東北中学校) 長野市大字高田912 Tel: 217-5852
	まなびの教室	川中島中学校 長野市川中島町今井1360 Tel: 284-4027

※ 長野市の
「情報ツー
」(令和7年度版)
より抽出。

日常会話での留意点 — 今日からできること

お子さんと、会話を楽しむことを心がけて、訂正するのではなく、自然なやり取りの中で、さりげなく補って返すことが有効です。

例えば、右のイラストの例では、幼児語的な未熟な発音（赤字の部分）に対して、それを指摘することなく、自然な応答の中で、さりげなく正しい発音（緑字の部分）を交えながら、にこやかに返しています。



相談の窓口 — 今後のため、未来に向けた安心のために

就学前後の子どものことばの相談の窓口としては、「ことばの教室」をはじめとする、通級指導教室があります。（上表）

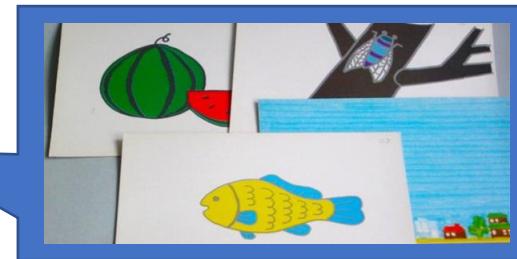
そのほか、保健所・保健センター、医療機関などにも、相談の窓口がありますので、必要に応じてご利用ください。

※ 文中の挿絵イラスト かわいいフリー素材 いらすとや <https://www.irasutoya.com/> より

ことばの相談に見る状態像から

～就学前後の子どもの発音・発語について～

②



以下、年中・男子の発話の例です。「ことばのテスト絵本*」の『テスト4』（上写真・上段）で、絵を見ながらの自由表現です。

「ブラントあとんてる。ブラントでいじわるちてる。」

このように、発音の面で、（カ行音・サ行音→タ行音）の置き換わりが認められました。また、内容の面でも、主語がない、当事者や周囲の人の様子に触れていないなど、少なめでした。

更に、「構音検査**」の『単語検査』（上写真・下段）で、絵カードを見せて単語を言ってもらうと、シ・チ・ジの音が、それぞれヒ・キ・ギに近い音になっていることも分かりました。

* 田口恒夫・小川口宏(著)：ことばのテストえほん 日本文化科学社, 1987.

** 今井智子・加藤正子・他(著)：新版構音検査 千葉テストセンター, 2010.

長野圏域療育コーディネーター／言語聴覚士 安川 健治

〒380-0928 長野県長野市若里6-6-14 児童発達支援センターにじいろキッズらいふ

TEL 026-219-3781 携帯 080-8877-1709 E-mail k-yasukawa@nagano-shajikyo.or.jp

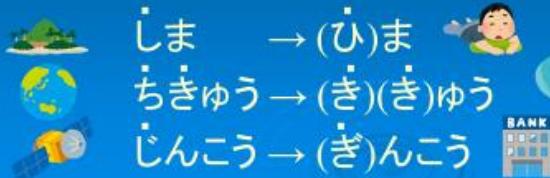


① 「幼児語」的な発音の例

つみき → ちゅみき
すいか → しゅいか
せみ → てみ
ぼうし → ぼうち
らっぱ → だっぱ
ぶどう → ぶろう

* 側音化・口蓋化など、
雑音を含む歪んだ音。

② こもったような発音*の例



※ ()内は、それ
に近い歪んだ音。

前のページのケースは、発音の困難とともに、話す・聞く等の困難も予想されます。就学前後（年中～小学校低学年）の時期の子どものことばの相談で、しばしば見られる状態像として、次のようなことがあります。

1. 発音の困難

① 定型発達・晚熟型

いわゆる「幼児語」的な未熟な発音です。（上の①）

② 特異的発達・不器用型

耳障りな感じのこもったような発音です。（上の②）

2. 話す・聞く等の困難

一般的な原因としては、聴覚障害、知的発達の遅れ、肢体不自由、視覚障害に伴って生じる場合などが考えられます。もし、そのような原因が認められないのに、話す・聞く等に発達の遅れや偏りがある場合は、通級指導教室（個別指導）の対象となる可能性があります。



これは、啓發リーフレットの一例です。
吃音のお子さんは、単にことばがつかえるだけではなく、ほかの表し方をする場合もあります。

もし、あなたの身近に吃音のお子さんがいることに気づいたら、正しい理解に努めましょう。

これは、金沢大学の小林宏明先生が運営するHPです。

【信頼できる情報源】吃音ポータルサイト

<https://www.kitsuon-portal.jp/index.html>

3. 流暢さの困難

<つかえ方>

- | | | |
|-------------|--------------|----|
| ① 語頭音の繰り返し | ぼ、ぼ、ぼくは... | 連発 |
| ② 語頭音の引き伸ばし | ぼーくは... | 伸発 |
| ③ 語頭音の詰まり | (...) ぼくは... | 難発 |

このように、語頭（文頭）の音でつかえることが、一定期間、一定頻度で認められる場合、吃音など、流暢さの困難がある可能性があります。

➤ 身近な大人の対応のしかた ー 基本的留意事項

◆ 「はっきり言ってごらん。」など、言い直しを求めるることはいっさいせず、話の中身に意識を向けて、しっかり聞くことに努めましょう。

◆ よかれと思っても、軽率な助言や慰めは禁物です。
専門機関で専門職に相談しましょう。 次頁参照